

40年の時を越えて タイムカプセル開封式

11月3日、旧舟形小学校創立110周年を記念したタイムカプセル開封式が行われました。この事業はタイムカプセル実行委員会（実行委員長 渡辺将治さん）が主催のもと、町制施行70周年記念事業として開催され、昭和59年当時の1年生から6年生のほか関係者合わせて約70名が参加しました。また、昭和59年旧舟形小学校創立110周年記念実行委員会（実行委員長 佐藤篤さん〔丸充建設株式会社〕の協力を得て、今回の掘り起こしと開封式が実現されました。



40年の時を経て掘り起こされたタイムカプセルは、開封すると保存状態が非常に良く、当時のままの状態で、参加者を驚かせました。タイムカプセルの中には、当時の舟形小学校への入学のしおりや校庭のコモスの種子、使用されていた文房具やコミック雑誌など、当時の小学生の宝物がたくさん入っていました。開封会場は昭和59年当時に戻ったかのような懐かしさがあふれました。参加者は「当時のままの品々との再会にとても感激しました」と話していました。



除雪作業の安全祈願祭



11月5日、福祉避難所「てとて」で舟形町除雪作業安全祈願祭が行われ、各工区の除雪ロータリ車やドーザー車の運転手や機械整備関係者などが参加し、除雪作業の安全と無事故を祈願しました。
町では人口減少による運転手の人材不足、夜間や早朝の見回り負荷の軽減、天候の急激な変化に対応するため、24時間リアルタイムで計測できる積雪センサーを町内4カ所に設置。さらなる冬期間の安心・安全な道路交通の実現に向けて取組んでいて、今年度も降雪への備えに努めています。

町建設業協会 ボランティア

10月25日、舟形町建設業協会（会長 長倉誠一さん）の8社が、27日に開催を控えた町制施行70周年記念式典に向けて、町道一の関若あゆ大平線の除草作業とごみ拾いをボランティアで行いました。長倉会長は「記念式典に訪れるみなさんに、気持ちよく通ってもらいたい」と話していました。



東京友の会総会・ 町民まつり

11月2日、東京都荒川区のアーホテル日暮里ラングウツドで第32回舟形町東京友の会総会・町民まつりが開催され、134名が参加し、再会を喜ぶ姿が会場にあふれました。地域映画「想いは未来へ」の上映や、ステージショー、唱歌「ふるさと」の合唱で盛会のうちを終えることができました。

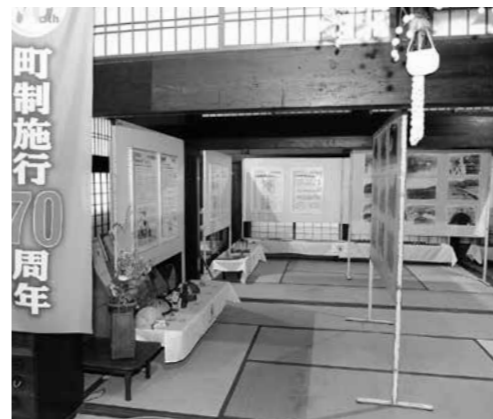


災害に備えて ふなっ子防災研修会



10月20日、中央公民館で高校生ボランティア「ふなっ子」と町青少年育成推進員が合同で防災研修会を受けました。講師にウエザーハート災害福祉事務所代表の千川原公彦氏を招き、高校生のできる防災についての講演をいただいたほか、ワークショップも行い、防災への理解を深めました。
その後、中央公民館内の防災グッズの確認を行い、災害発生時を想定した避難所での災害用パーティーションや簡易ベッドの組立てを、実際にこなしたほか、炊き出し訓練を体験しました。

町制施行70周年記念事業 舟形の亜炭パネル写真展



10月2日から31日まで、町制施行70周年記念事業として、町歴史民俗資料館で「舟形の亜炭パネル写真展」を開催しました。この写真展では、大正時代から昭和30年代にかけての一大産業であった亜炭産業についての現存する資料や写真を展示しました。亜炭炭鉱に関する写真などの史料や道具のほか、現在ではほとんど見ることのできない実物の亜炭も展示し、自由に触ることもできました。
期間中118名が来館し、町を支えてきた産業の歴史を振り返る機会となりました。

舟形小学校 めがみ学習発表会



10月20日、舟形小学校でめがみ学習発表会が行われ、学んだ内容を題材に劇や演奏を行いました。

鈴木建築設計事務所 寄付贈呈式



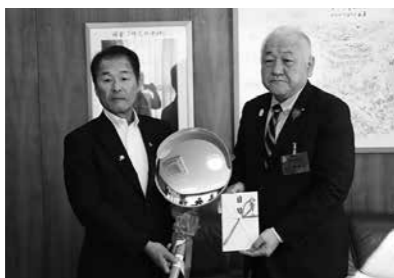
10月24日、災害復興のため、寄付金をいただきました。大切に活用させていただきます。

舟形中学校 舟友祭



10月26日、舟形中学校で舟友祭が行われ、作品展示や合唱、ダンスなどの発表を行いました。

交通事故防止のため カーブミラー寄贈



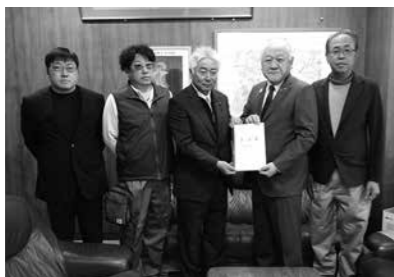
10月29日、JAおいしいもがみとJA共済連山形から、カーブミラー4基が寄贈されました。

食農・食育事業 舟形産大豆でみそ作り



10月31日、八鍬和泉さん（業山）を講師に招き、小学校3年生が大豆とこうじでみそを作りました。

町認定農業者協議会から 要望書提出



11月6日、舟形町認定農業者協議会から町長へ7項目にわたる要望書が提出されました。